

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-331670

(P2001-331670A)

(43) 公開日 平成13年11月30日 (2001.11.30)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

3 1 0

Z E C

5 0 2

F I

G 0 6 F 17/60

7-73-7 (参考)

3 1 0 E 5 B 0 4 9

Z E C

5 0 2

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2000-150143 (P2000-150143)

(22) 出願日 平成12年5月22日 (2000.5.22)

(71) 出願人 500218390

株式会社タマル

香川県高松市常磐町1-8-1

(72) 発明者 吉岡 哲朗

香川県高松市常磐町1-8-1 株式会社

タマル内

(74) 代理人 100083013

弁理士 福岡 正明

Fターム(参考) 5B049 BB11 CC05 CC10 DD01 FF01

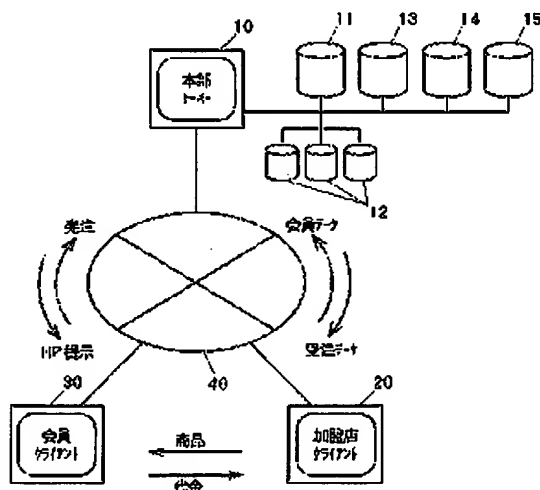
GG02

(54) 【発明の名称】 電子ショッピングシステム

(57) 【要約】

【課題】 ホームページの作成、維持管理等を要することなく、また商品管理等の負担を軽減しながら、インターネットを利用した商取引を可能とするシステムを提供する。

【解決手段】 加盟店を傘下に持つ本部が使用するサーバー10と、加盟店が募集した会員が使用するクライアント30とをインターネット40を介して接続可能とすると共に、上記サーバー10に、商品の情報を蓄積した商品情報記憶手段と、クライアントからのアクセスがあったときに当該会員が属する加盟店を識別する加盟店識別手段と、識別した加盟店用に特化したホームページ作成するホームページ作成手段と、このホームページを通じてクライアントからの発注を受信する受注手段とを備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 加盟店を傘下に持つ本部が使用するサーバーと、加盟店が募集した会員が使用するクライアントとがインターネットを介して接続されるフランチャイズ制の電子ショッピングシステムであって、上記サーバーは、加盟店が販売する商品の情報を蓄積した商品情報記憶手段と、クライアントからのアクセスがあったときに当該会員が属する加盟店を識別する加盟店識別手段と、上記商品情報記憶手段から読み出した商品情報を用いて作成したホームページを発信するホームページ発信手段と、このホームページを通じてクライアントからの注文を受信する受注手段とを有することを特徴とする電子ショッピングシステム。

【請求項2】 本部が使用するサーバーにインターネットを介して接続される加盟店用クライアントが備えられ、かつ、上記サーバーには、受注手段で受信した発注者及び受注商品を含む受注データを加盟店識別手段で識別した加盟店のクライアントに伝達する受注データ伝達手段が設けられていることを特徴とする請求項1に記載の電子ショッピングシステム。

【請求項3】 加盟店を傘下に持つ本部が使用するサーバーと、加盟店が募集した会員が使用するクライアントとがインターネットを介して接続されるフランチャイズ制の電子ショッピングシステムであって、上記サーバーは、加盟店が販売する商品の情報を蓄積した商品情報記憶手段と、各加盟店毎のホームページ用データを記憶したホームページデータ記憶手段と、クライアントからのアクセスがあったときに当該会員が属する加盟店を識別する加盟店識別手段と、識別した加盟店のホームページ用データを上記ホームページデータ記憶手段から読み出し、そのデータと上記商品情報記憶手段から読み出した商品情報とを用いてホームページを作成するホームページ作成手段と、作成したホームページを発信するホームページ発信手段と、このホームページを通じてクライアントからの注文を受信する受注手段とを有することを特徴とする電子ショッピングシステム。

【請求項4】 加盟店識別手段は、予め所定の規則に従って設定されたURLに基づいて当該会員の属する加盟店を識別することを特徴とする請求項3に記載の電子ショッピングシステム。

【請求項5】 本部が使用するサーバーにインターネットを介して接続される加盟店用クライアントが備えられ、かつ、上記サーバーには、受注手段で受信した発注者及び受注商品を含む受注データを加盟店識別手段で識別した加盟店のクライアントに伝達する受注データ伝達手段が設けられていることを特徴とする請求項3に記載の電子ショッピングシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えばレコードシ

ョップ等が加盟するフランチャイズ制の電子ショッピングシステムに関し、インターネットを利用した電子商取引の技術分野に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、各種の業種において、企業や店舗がインターネット上に展開したホームページに仮想的な商店を設定し、この仮想商店を通じて商品の注文を受け付けることが行われており、その一例として例えば特開2000-20591号公報に開示された電子ショッピングシステムが存在する。

【0003】ところで、この種の電子ショッピングシステムにおいては、インターネットを介して提示されるホームページが、これを見る一般需要者の関心をいかにして引き付け、そこに提示された商品に対する購入意欲を誘起させるかが重要なポイントとなる。また、提示される商品の品揃えが豊富で、需要者の多様な要求を満足させることができるものであることも重要なポイントとなる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、大規模な店舗の場合はともかく、中小企業もしくは個人的な店舗の場合には、効果的なホームページを作成し、或いはそれを維持管理するための費用の負担が大きく、また、品揃えできる商品の範囲も限られるため、この種のシステムの導入が難しく、また導入しても採算性の点で満足な結果が得られないことが多い。

【0005】そこで、本発明は、現実の小売り業界やファーストフード業界等で採用されているフランチャイズシステムをインターネット上の仮想ショッピングシステムに適用することにより、例えば資金力等において劣る中小企業もしくは個人店舗にあっても、効果的な電子商取引を可能とすることを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、本発明では次のような手段を用いる。

【0007】まず、本願の請求項1の発明（以下、第1発明という）に係る電子ショッピングシステムは、加盟店を傘下に持つ本部が使用するサーバーと、加盟店が募集した会員が使用するクライアントとがインターネットを介して接続されるフランチャイズ制の電子ショッピングシステムであって、上記サーバーは、加盟店が販売する商品の情報を蓄積した商品情報記憶手段と、クライアントからのアクセスがあったときに当該会員が属する加盟店を識別する加盟店識別手段と、上記商品情報記憶手段から読み出した商品情報を用いて作成したホームページを発信するホームページ発信手段と、このホームページを通じてクライアントからの注文を受信する受注手段とを有することを特徴とする。

【0008】また、請求項2の発明（以下、第2発明という）は、上記第1発明の電子ショッピングシステムに

において、本部が使用するサーバーにインターネットを介して接続される加盟店用クライアントを備えると共に、上記サーバーには、受注手段で受信した発注者及び受注商品を含む受注データを加盟店識別手段で識別した加盟店のクライアントに伝達する受注データ伝達手段を設けたことを特徴とする。

【0009】一方、本願の請求項3の発明（以下、第3発明という）に係る電子ショッピングシステムは、上記第1発明と同様に、加盟店を傘下に持つ本部が使用するサーバーと、加盟店が募集した会員が使用するクライアントとがインターネットを介して接続されるフランチャイズ制の電子ショッピングシステムであって、上記サーバーは、加盟店が販売する商品の情報を蓄積した商品情報記憶手段と、各加盟店毎のホームページ用データを記憶したホームページデータ記憶手段と、クライアントからのアクセスがあったときに当該会員が属する加盟店を識別する加盟店識別手段と、識別した加盟店のホームページ用データを上記ホームページデータ記憶手段から読み出し、そのデータと上記商品情報記憶手段から読み出した商品情報とを用いてホームページを作成するホームページ作成手段と、作成したホームページを発信するホームページ発信手段と、このホームページを通じてクライアントからの注文を受信する受注手段とを有することを特徴とする。

【0010】また、請求項4の発明（以下、第4発明という）は、上記第3発明の電子ショッピングシステムにおいて、加盟店識別手段は、予め所定の規則に従って設定されたURLに基づいて当該会員の属する加盟店を識別することを特徴とする。

【0011】さらに、請求項5の発明（以下、第5発明という）は、同じく第3発明の電子ショッピングシステムにおいて、本部が使用するサーバーにインターネットを介して接続される加盟店用クライアントを備えると共に、上記サーバーには、受注手段で受信した発注者及び受注商品を含む受注データを加盟店識別手段で識別した加盟店のクライアントに伝達する受注データ伝達手段を設けたことを特徴とする。

【0012】上記のように構成することにより、本願各発明によれば次のような作用が得られる。

【0013】まず、第1発明によれば、いずれかの加盟店が募集した会員が、本部が作成したホームページを介して商品注文したときに、本部のサーバーに備えられた加盟店識別手段が、例えば会員が入力したURLや会員ID番号もしくは加盟店コード等からいずれの加盟店の会員かを識別することになる。

【0014】そこで、本部はその加盟店に、発注者及び受注商品を含む受注データを伝達することにより、加盟店は自らホームページを所持しなくても、また本部が所有する商品情報を利用して、当該会員との間の商取引を行うことが可能となる。

【0015】その場合に、第2発明によれば、加盟店にもクライアントが備えられると共に、本部のサーバーには受注データをこのクライアントに伝達する受注データ伝達手段が設けられるので、本部から加盟店への受注データの伝達をEメール等によりインターネットを介して行うことが可能となる。

【0016】一方、第3発明によれば、いずれかの加盟店が募集した会員が、インターネットを介して本部のサーバーにアクセスしようとしたときに、サーバーに備えられた加盟店識別手段が当該会員がいずれの加盟店に属するかを識別する。そして、ホームページ作成手段が、予め登録されている当該加盟店用のホームページ用データ、例えばその加盟店の店名ロゴや図形、或いは支店リスト等のデータをホームページデータ記憶手段から読み出し、そのデータと商品情報記憶手段から読み出した商品情報とを用いてホームページを作成し、ホームページ発信手段がこのホームページを発信する。そして、受注手段が会員からの注文を受信し、その受注データが当該加盟店に伝達される。

【0017】したがって、上記会員には、その会員が属する加盟店用として作成されたホームページが提示されることになり、逆にいえば、その加盟店は、本部が作成したホームページと本部が所有する商品情報とを利用しながら、これらを、あたかも独自のホームページ及び情報として商取引を行うことが可能となる。

【0018】その場合に、第4発明によれば、加盟店識別手段は、入力されたURLに基づいて当該会員の属する加盟店を識別するので、加盟店識別のための特別なコードやその入力操作等が不要となる。

【0019】また、第5発明によれば、上記第2発明と同様に、本部から加盟店への受注データの伝達が、Eメール等によりインターネットを介して効率よく行われることになる。

【0020】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明する。なお以下の実施の形態は、本発明の電子ショッピングシステムをレコードショップのフランチャイズシステムに適用したものである。

【0021】図1は、本実施の形態に係る電子ショッピングシステムの概略の構成図であり、このシステム1は、フランチャイズシステムの本部が所有するサーバー10と、このフランチャイズシステムに加盟している加盟店が所有する加盟店クライアント20…20（1つのみ図示）と、この加盟店が店頭等で募集した自店の顧客等である会員が所有する会員クライアント30…30（1つのみ図示）と、これらを接続するインターネット40とで構成されている。

【0022】上記サーバー10には、各種のデータベースが備えられている。このうち、データベース11は当該システムで取り扱われるレコードやCD等の全ての商

品データを登録した商品マスターであり、この商品マスター11に登録された商品を例えば品番、ジャンル別、或いはベストセラー100等の項目毎に仕分けてなる各種のコンテンツ12…12が備えられている。

【0023】また、データベース13は会員登録用のデータベースであって、当該フランチャイズシステムに加盟する各加盟店がそれぞれ募集した会員が登録されている。具体的には、図2に示すように、登録した会員毎に、会員ID番号、パスワード、その会員が属する加盟店コード番号、会員がその加盟店の特定の支店に属する場合にはその支店コード、及びサーバー10がその会員のクライアント30を識別するための所謂クッキーと呼ばれる端末識別コード等が登録されている。

【0024】また、データベース14は加盟店登録用のデータベースであって、図3に示すように、各加盟店毎のデータとして、加盟店コードとその加盟店に本、支店がある場合の各店舗コードとが登録されている。なお、この加盟店データは、加盟店と本部との間のフランチャイズ契約が成立した時点で、本部サーバー10の加盟店データベース14に登録される。

【0025】さらに、データベース15は各加盟店用のホームページデータを登録するものであって、このデータベース15には、例えば図4に示すように、ホームページの作成時に用いる当該加盟店の店名ロゴやホームページに表示する図形等、或いは当該加盟店の支店リスト等の当該加盟店に専用のホームページデータが登録されている。

【0026】次に、この実施の形態に係る電子ショッピングシステムの適用手順を図5に示すフローチャートにしたがって説明する。なお、このフローチャートは、会員クライアント30と本部サーバー10との間のやり取りを示すものである。

【0027】このシステムを利用する場合、まず、会員が自分の所有するクライアント30（パソコン）を電話回線等を用いてプロバイダに接続することになり（ステップS1）、これによりインターネットブラウザが起動する（ステップS2）。そこで、会員は予め入手しているURLを入力することにより、当該システムにアクセスする（ステップS3）。

【0028】その場合に、使用するURLとしては、当該システム全体に共通するものと、加盟店毎に区別されたものが存在する。例えば、

http://www.abc.xyz.co.jp
なるURLは加盟店用のURLであって、「abc.」の部分で加盟店を識別する部分となり、この部分が存在しないURLが当該システム全体で共用されるURLとなる。そして、いずれにしても、「xyz.co.jp」の部分で、本部サーバー10に接続される（ステップS4）。

【0029】このとき、サーバー10は、当該クライ

アント30からの最初のアクセス時にそのクライアントに付与される端末識別コードを確認することにより、1回目のアクセスか2回目以降のアクセスかを判別する（ステップS5）。

【0030】そして、1回目のアクセス時には、会員ID番号及びパスワードの入力を求め、これらと、図2に示す会員データベース13に登録された会員データとを照合することにより、アクセスしてきた者が会員であるかを判別する（ステップS6、S7）。

【0031】ここで、上記会員ID番号及びパスワードは、その会員がいずれかの加盟店における入会申請時に取得しており、そのデータが加盟店からの連絡に基づいて本部サーバー10の会員データベース13に登録されているのであるが、入力された会員ID番号やパスワードが登録されたものとは異なっている場合や、これらの入力がなかった場合には、非会員からのアクセスであると判断し、サーバー10はゲスト用ホームページを表示する（ステップS8）。

【0032】一方、入力された会員ID番号及びパスワードが登録されたものであると判断されたとき、及び上記端末識別コードにより当該クライアント30からのアクセスが2回目以降であると判断されたときには、サーバー10は、次に、上記URLが各加盟店用に特定されたものであるかを判別する（ステップS9）。

【0033】そして、入力されたURLにおける上記の「abc.」に相当する加盟店識別用の部分が存在せず、このURLからは加盟店が特定できないときは、会員データベース13に基づき、或いは加盟店特定のための入力をクライアント30に改めて要求して、今回アクセスしてきた会員がいずれの加盟店に属するかを認識する（ステップS10）。

【0034】以上により、会員の確認及び加盟店の確認を終了すると、サーバー10は、次に、ホームページデータ用データベース15から、確認した加盟店用の例えば図4に示すような店名ロゴや図形等のホームページ用データ、或いは支店リスト等の当該加盟店専用のホームページデータを読み出し、このデータと商品マスター11及び各種コンテンツ12…12から読み出した商品データとを用いて、当該加盟店用として構成されたホームページを作成し、これを会員クライアント30に送信する（ステップS11）。

【0035】そして、会員クライアント30側での所定の注文処理を受け、サーバー10は、当該会員のID番号、受注商品、商品の引き渡し方法、代金受け取り方法等の受注データを入力する（ステップS12）。

【0036】このようにして、いずれかの加盟店に属する会員からの受注が完了すると、本部サーバー10は、その後、受注データを当該加盟店のクライアント20に、例えばEメール等によりインターネットを介して転送する。

10

20

30

40

50

【0037】そして、これを受け取った加盟店は、必要な場合には当該会員とコンタクトを取った上で、受注データにしたがって商品の引き渡し及び代金の受け取りを行う。その場合に、受注した商品が自店に在庫のないものであっても、加盟店は本部から或いは本部を経由してこれを入手することが可能となる以上のようにしてインターネット上に展開されるホームページを利用した電子商取引が行われることになるが、このシステムによると、各加盟店はホームページの作成及び維持管理を必要とすることなく、自店用に特化されたホームページを会員に提示することが可能となり、また、提供する商品情報も、自店に在庫があるものだけに限らず、本部の膨大なデータに基づいて、多様な態様で提供することが可能となる。

【0038】なお、以上の実施の形態においては、基本的には、会員クライアントから送られるURLに基づいて加盟店を特定するようになっているが、加盟店が自店の会員に付与する会員ID番号或いはパスワードにその加盟店を識別する部分を設け、本部サーバー10がこの会員ID番号もしくはパスワードに基づいて加盟店を特定するようにすることも可能である。

【0039】また、受注データは本部からインターネットを介して加盟店に伝達されるようになっているが、音頻等を用いたその他の伝達手段を用いてもよい。

【0040】さらに、各加盟店用に特化したホームページを作成するようになっているが、この加盟店専用ホームページの作成を省力して本システムを運用するようにしてもよい。

【0041】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、いずれかの加盟店が募集した会員が、本部が作成したホームページを介して商品を注文したときに、本部のサーバーが、例えば会員が入力したURLや会員ID番号等からいずれの加盟店の会員かを識別する。そして、その受注データは、識別された加盟店に伝達される。

【0042】したがって、加盟店は、その受注データにしたがって当該会員に商品を引き渡すと共に代金を受領することにより、自らホームページを所持しなくても、*

* インターネットを利用した商取引が可能となる。

【0043】特に、本部が所有する膨大な商品情報や在庫商品を利用することができ、また、商品がレコードやCD等の著作権に関連する処理が必要な場合であっても、これを本部が代行することが可能となるなど、各加盟店は少ない負担で効率のよい電子商取引が可能となる。

【0044】そして、特に第3～第5発明によれば、いずれかの加盟店に属する会員が、インターネットを介して本部のサーバーにアクセスしたときに、その加盟店用として特化されたホームページが提示されることになるので、会員は本部の存在を意識せず、あたかも自分が属している加盟店との間で直接取引引きしているものと認識することになる。したがって、当該加盟店は、それだけ自店の存在をアピールすることができ、ひいては自店の販売促進が図られることになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態に係るシステムのハード構成図である。

【図2】 同システムで用いられる会員データベースの構成図である。

【図3】 同じく加盟店データベースの構成図である。

【図4】 同じく加盟店毎のホームページ用データベースの構成図である。

【図5】 同システムの運用動作を示すフローチャートである。

【図6】 同システムで作成されるホームページのフロントページの一例の説明図である。

【符号の説明】

- 10 本部サーバー
- 11 商品データベース
- 13 会員データベース
- 14 加盟店データベース
- 15 ホームページデータ用データベース
- 20 加盟店クライアント
- 30 会員クライアント
- 40 インターネット

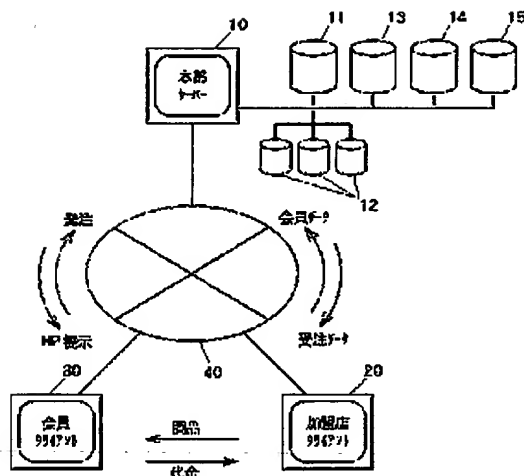
【図2】

会員ID番号	ABC-12345
パスワード	XYZ0000
加盟店コード	ADC
支店コード	ABC-01
所属施設コード	△△△△△△

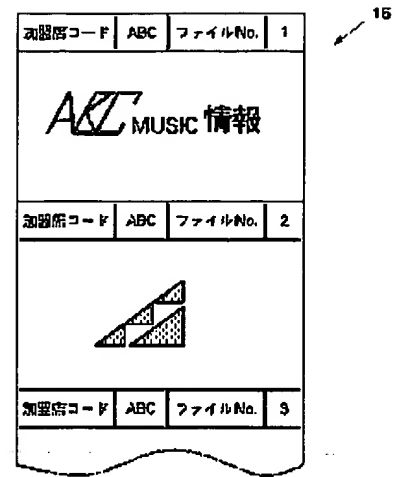
【図3】

加盟店コード	ABC	
本店	ABC-00	高松市〇〇〇〇
支店1	ABC-01	高松市××××
支店2	ABC-02	:
支店3	ABC-03	:
支店4	ABC-04	:

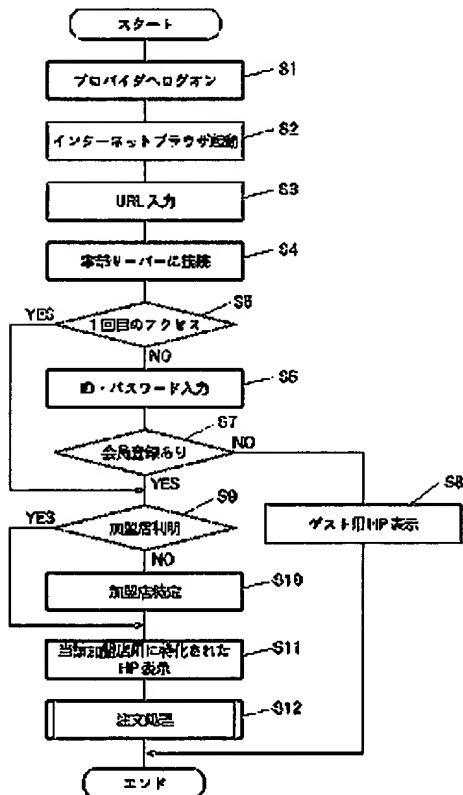
【図1】



【図4】



【図5】



【図6】

